

2020年9月29日

お客様各位

関東デューバースチール株式会社

JIS G3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」改正にともなう
当社異形棒鋼の対応について

1. はじめに

2020年4月20日に、これまで鉄筋コンクリート用棒鋼として使用していたJIS G 3112:2010(以下旧JIS)が改正され、JIS G 3112:2020(以下新JIS)へ規格が置き換えられました。現在は移行期間に入っています。

つきまして改正に伴う今後の当社の対応についてご案内いたします。

2. 改正・移行スケジュール

2020年4月20日：公示

2020年4月20日～2021年4月19日：移行準備期間

2021年4月20日：新JIS移行

1年間の移行期間が設けられておりその間に新JIS認証とその変更に伴う対応を実施いたします。合同製鐵は2021年2月下旬～3月上旬、朝日工業は2020年12月下旬～1月上旬よりJIS2020年版を製造開始予定です。

3. JIS改正内容と当社の対応

(1) JIS改正に影響がある鋼種

当社が販売する鉄筋コンクリート用棒鋼のうち対象となるのは以下の通りとなります。

〈新JIS認証手続きを行い、製造・販売を継続する規格〉

SD295、SD345、SD390、SD490

SD295AはSD295Bと統合されSD295に名称が変わります。

変更の詳細に関しては添付の”JIS G 3112改正の変更点”をご参照ください

〈JIS製品ではなく、国土交通大臣認定品として、製造・販売を継続する規格〉

合同製鐵：SD590B、SD685B 朝日工業：USD590A、USD590B、USD685A、USD685B

上記に関しては国土交通大臣認定品として今後も販売いたします。

(2) JIS移行後の出荷について

JIS公示後、速やかに新JIS認証手続きを行いますが、認証が完了するまでの移行準備期間中は旧JIS製品(2010版)を製造いたします。認証完了後に製造した製品に関しては新JIS製品(2020版)となります。また新JIS(2020版)への更新が完了しますと旧JIS品(2010版)は製造できなくなります。新JIS製造開始後は旧JIS製品と新JIS製品が混在して出荷される事がございます。当面は旧JIS製品(2010版)を優先して出荷いたしますのでその点ご了承ください。ミルシート記載内容、製品ラベルは認証完了のタイミングで新版に変更いたします。

(3) 新 JIS 認証後は、旧 JIS 製品の製造ができなくなります。すでに契約されている注文につきましても SD295A の代替品を SD295 とすることを含め、新 JIS 製品を代替品として出荷する場合がございます。

ご案内は以上となります。

今後とも当社製品をご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

4. お問い合わせ先

関東デーパー Steele 株式会社

代表 TEL:03-6267-0030

合同製鐵 JIS G 3112 改正の変更点

表 1 JIS G 3112 新旧 JIS 比較表

改正項目	JIS G 3112:2010 (旧 JIS 製品)	JIS G 3112:2020 (新 JIS 製品)
規格名変更	SD295A	SD295
規格廃止	SD295B	廃止
SD295 化学成分追加	P, S のみ規格値設定 (表 2-1)	C, Si, Mn, P, S の規格値設定 (表 3)
SD345, 390, 490 降伏比規定追加	-	≦80
SD490 曲げ半径変更	サイズによって 曲げ半径 D=2.5~3.0	全サイズ曲げ半径 D=2.0
炭素当量変更	C+Mn/6	Ceq=C+Mn/6+Si/24+Ni/40+Cr/5+Mo/4+V/14
高強度鋼種の追加	SD490 以下	SD590 以上の追加

表 2-1 JIS G 3112:2010 化学成分

	C	Si	Mn	P	S	Cu	C+Mn/6
SD295A	-	-	-	≦0.050	≦0.050	-	-
SD295B	≦0.27	≦0.55	≦1.50	≦0.040	≦0.040	-	-
SD345	≦0.27	≦0.55	≦1.60	≦0.040	≦0.040	-	≦0.50
SD390	≦0.29	≦0.55	≦1.80	≦0.040	≦0.040	-	≦0.55
SD490	≦0.32	≦0.55	≦1.80	≦0.040	≦0.040	-	≦0.60

表 2-2 国土交通省大臣認定化学成分 (参考)

SD590B	0.30~0.35	0.10~0.30	1.20~1.40	≦0.030	≦0.030	≦0.15	≦0.58
SD685B	0.33~0.37	0.80~0.90	1.40~1.55	≦0.030	≦0.030	≦0.15	≦0.63



表 3 JIS G 3112:2020 化学成分

鋼種	C	Si	Mn	P	S	炭素当量
SD295	≦0.27	≦0.55	≦1.50	≦0.050	≦0.050	-
SD345	≦0.27	≦0.55	≦1.60	≦0.040	≦0.040	≦0.60
SD390	≦0.29	≦0.55	≦1.80	≦0.040	≦0.040	≦0.65
SD490	≦0.32	≦0.55	≦1.80	≦0.040	≦0.040	≦0.70
SD590B	≦0.45	≦1.00	≦2.00	≦0.040	≦0.040	≦0.80
SD685B	≦0.50	≦2.00	≦2.00	≦0.035	≦0.035	≦0.85

※炭素当量: $Ceq=C+Mn/6+Si/24+Ni/40+Cr/5+Mo/4+V/14$

※追加された SD590B, SD685B は今後 JIS 取得するべく取り組んでおりますが、JIS 取得までは従来の大臣認定の SD590B, SD685B を販売いたします。

図 1 ラベル変更



製品の現物でも新旧 JIS の見分けがつくように製品ラベルに”コード No”の表記を追加いたします。

JIS G 3112改正の朝日工業(株)変更点

表1 JIS G 3112 新旧JIS比較表

改正項目	JIS G 3112:2010(旧JIS製品)	JIS G 3112:2020(新JIS製品)
規格名変更	SD295A	SD295
規格廃止	SD295B	廃止
SD295 化学成分追加	P, Sのみ規格値設定(表2-1)	C, Si, Mn, P, Sの規格値設定(表3)
SD345, 390, 490 降伏比規定追加	-	≤80
SD490 曲げ半径変更	サイズによって 曲げ半径D=2.5~3.0	全サイズ曲げ半径D=2.0
炭素当量変更	C+Mn/6	Ceq=C+Mn/6+Si/24+/Ni/40+Cr/5+Mo/4+V/14
高強度鋼種の追	SD490以下	SD590以上の追加

表2-1 JIS G 3112:2010化学成分

	C	Si	Mn	P	S	Cu	C+MN/6
SD295A	-	-	-	≤0.050	≤0.050	-	-
SD295B	≤0.27	≤0.55	≤1.50	≤0.040	≤0.040	-	-
SD345	≤0.27	≤0.55	≤1.60	≤0.040	≤0.040	-	≤0.50
SD390	≤0.29	≤0.55	≤1.80	≤0.040	≤0.040	-	≤0.55
SD490	≤0.32	≤0.55	≤1.80	≤0.040	≤0.040	-	≤0.60

表2-2 国土交通省大臣認定化学成分(参考)

	C	Si	Mn	P	S	Cu	C+MN/6
USD590A	0.24~0.32	0.25~0.45	1.10~1.40	≤0.040	≤0.040	≤0.30	≤0.65
USD590B	0.24~0.31	0.25~0.45	1.10~1.40	≤0.040	≤0.040	≤0.30	≤0.65
USD685A	0.25~0.35	0.25~0.45	1.10~1.40	≤0.030	≤0.030	≤0.30	≤0.65
USD685B	0.25~0.34	0.25~0.45	1.10~1.40	≤0.030	≤0.030	≤0.30	≤0.65

表3 JIS G 3112:2020化学成分

	C	Si	Mn	P	S	Cu	炭素当量
SD295	≤0.27	≤0.55	≤1.50	≤0.050	≤0.050	-	-
SD345	≤0.27	≤0.55	≤1.60	≤0.040	≤0.040	-	≤0.60
SD390	≤0.29	≤0.55	≤1.80	≤0.040	≤0.040	-	≤0.65
SD490	≤0.32	≤0.55	≤1.80	≤0.040	≤0.040	-	≤0.70
SD590A/B	≤0.45	≤1.00	≤2.00	≤0.040	≤0.040	-	≤0.80
SD685A/B	≤0.50	≤2.00	≤2.00	≤0.035	≤0.035	-	≤0.85

※炭素当量:Ceq=C+Mn/6+Si/24+Ni/40+Cr/5+Mo/4+V/14

※追加されたSD590A/B、SD685A/Bは、JIS取得まで従来の大臣認定で販売いたします。

図1 製品タグの変更
従来の製品タグ



※製品の現物でも新旧JISの見分けが
つくように製品タグを一部変更致しま
す。変更箇所は未定の為、後日御連
絡致します。